ランチョンセミナー 1

2月9日 (木) 12:40~13:40 第1会場 (パシフィコ横浜 会議センター 1F メインホール)



2022年12月作成



座 長

山田 昌和 先生 (杏林大学)



ジクアス点眼液3%においては、点眼薬の用法遵守がなされず、本来の治療効果を得られていないという課題があります。 それはドライアイだけでなく、他疾患においても同様のことが 言えるかと思います。

ジクアス点眼液3%やアレジオン点眼液0.05%における用法 不遵守の課題解決策の一つとして、1日2回点眼のアレジオン LX点眼液0.1%や、直近では1日3回点眼のジクアスLX点眼液 3%が発売となりました。

そこで本講演会では、改めて点眼回数が減ることの価値についてドライアイだけでなくアレルギー性結膜炎における点眼治療の用法遵守の取組みにも触れてまいります。

またジクアスLX点眼液3%については、臨床データを中心にお話しいただき、ドライアイ診療のこれからをみなさまと一緒に考えたいと思います。

ぜひ、先生方の今後の日常診療の一助にしていただければ 幸いです。

演者 1

ドライアイにおける 用法遵守の実態

重安 千花 先生 (杏林大学)



演者2

アレルギー治療から学んだ あるべきドライアイ治療

深川 和己 先生 (両国眼科クリニック)



演者3

ジクアスLX点眼液3%の可能性

海道 美奈子 先生 (和田眼科医院)



共催:参天製薬株式会社